

未病・防災～高齢者比率約4割の町で高校生が挑む少子高齢化

～山北町の少子高齢化に対する危機意識と山北高校が地域から愛され、求められてきた歴史をもとに、高校と町が県西地域発展の課題に挑む～

< 目 標 >

- I 山北高等学校を中心に、行政・町民・企業
が一体化の推進
- II 『未病』、『地域防災』の二つの視点で、
PBLを活用した『個人の成長』を求める
カリキュラムの開発研究
- III Uターンを含めた地域で活躍し、地域を創
生する人材の育成

< 体制 >

- 山北町と県教育委員会の協定
- 学校と地域を結ぶコーディネーター
- 自治会関係者との協働
- 県政策局未来創生課との連携
- 大学との連携
- 地域の企業・商工会との協働

< 取 組 状 況 >

- I 町をはじめ、町民、企業、NPO、町議会な
ど各団体の参加を得られるカリキュラムを
構築している。
- II 2学年より開講した「未病」「地域防災」に
おいて、地域の情報収集、整理・分析作業を
行い、探究的な学びを通じて、思考力、判断
力、表現力の向上を図っている。
- III 町やNPO、協議会の協力により、フィールド
ワークやマイプロジェクトを通じて、生徒が
地域課題を自分事として捉えるようになって
いる。

< 成 果 >

- ◇積極性と身の周りの課題発見能力の
向上
- ◇課題解決に向けたコミュニケーション
ンカやプレゼンテーションスキルの
獲得
- ◇多角的な視点の獲得と思考力・判断
力・表現力の向上
- ◇地域理解の深まりと自分事としての
課題認識の深まり
- ◇地域課題解決に向けた提案、発表

< 課 題 >

- ◆探究学習を核とした教科横断的な学
習への転換と推進する組織づくり
- ◆生徒の学習事項を提言に結び付けて
いくための環境づくり
- ◆コンソーシアムの活用と発展及び地
域協働学習支援員との更なる協働体
制の確立
- ◆教員のファシリテート力の向上